

生産情報公表農産物の栽培方法について

農産物の栽培方法については、以下のとおり、様々な観点からの分類方法が存在し、これらの類型、定義を品目ごとに明確に分類、定義することは困難。

<露地か施設かに着目した分類>

栽 培 方 法	栽 培 内 容	主な農産物
普通栽培（露地栽培）	自然の機構、自然の畑条件で作物を栽培する方式。	農産物全般
施設栽培	プラスチック・フィルムやプレートを被覆したハウス、またはガラス室内で栽培環境をある程度調節しながら生産する方式 （促成栽培、半促成栽培などに利用）	きゅうり、トマト、ナス、ピーマン、メロン、スイカ、ブドウ、イチジク、マンゴーなど

<生育方法に着目した分類>

栽 培 方 法	栽 培 内 容	主な農産物
直まき栽培	土壌に直接種をまき生育させる方式	ダイコン、ニンジンなど
移植栽培	作物を育苗し、ある大きさにしてから本畑に移植（定植）する方式	米、スイカ、トマト、レタスなど

<使用した資材に着目した分類>

栽 培 方 法	栽 培 内 容	主な農産物
マルチ栽培	土壌の表面をプラスチック・フィルムや敷きわら、敷き草などで被覆する方式	イチゴ、レタス、スイカ、リンゴ、桃など
トンネル栽培	プラスチック素材や割竹、針金などを支柱として半円形トンネル状の骨組みをつくり、その上にプラスチック・フィルムを被覆した構造物の中で作物を育てる方式	イチゴ、カボチャ、メロンなど

<養液か土壌かに着目した分類>

栽 培 方 法	栽 培 内 容	主な農産物
養液栽培	土を使わないで作物を栽培する方式	トマト、メロン、ミツバ、ネギ、イチゴ、しそ、リーフレタスなど
土壌栽培	土壌の地力に依存して栽培する方式	農産物全般

<は種期・収穫期に着目した分類>

栽 培 方 法	栽 培 内 容	主な農産物
春・夏・秋・冬まき栽培	作物を種まき期を基準として栽培する方式	キャベツ、たまねぎなど
春・夏・秋・冬どり栽培	作物を収穫期を基準にして栽培する方式	キャベツ、たまねぎなど

<生産・出荷時期に着目した分類>

栽 培 方 法	栽 培 内 容	主な農産物
促成栽培	自然状態の普通栽培（露地栽培）に対して、より早く生産・出荷する栽培方式	トマト、きゅうり、イチゴなど
半促成栽培	作成栽培より遅く生産・出荷する栽培方式	トマト、きゅうり、イチゴなど
早熟栽培	半作成栽培より遅く生産・出荷する栽培方式	トマト、きゅうり、イチゴなど
抑制栽培	普通栽培より遅く生産・出荷する栽培方式	トマト、きゅうり、イチゴなど
周年栽培	作物を、1年を通じて生産し供給できるようにする栽培方式	ナス、トマト、きゅうり、レタス、キャベツなど

<きのこ類特有の分類>

栽 培 方 法	栽 培 内 容	主な農産物
原木栽培	クヌギ、コナラ等の原木に種菌を植え付ける方法。	生しいたけ、乾しいたけ
菌床栽培	おが屑にふすま、ぬか類、水等を混合してブロック状、円筒状等に固めた培地に種菌を植え付ける方法をいう。	生しいたけ、乾しいたけ

（注）本表は、農文協の「就農準備副読本 Q&A」より抜粋。

【栽培方法を必須（義務）の生産情報とすることについての問題点】

- （１）栽培方法を必須（義務）の公表情報とする以上、栽培方法の類型、定義を全ての作目を対象として横断的、統一的に規定することが不可欠であるが、これは上記のとおり事実上困難である。
- （２）そのような中で、規格において、横断的、統一的栽培方法の類型を規定せず、生産者側に類型の選定と公表を委ねた場合、生産者にとってのみ有利な類型方法が、その独自の判断により公表されることとなり、消費者にとって有益な情報とならないばかりか、かえって誤認を招く恐れがある（仮に、不適切な形で公表が行われても、類型、定義が規格に明確に規定されていなければ、何ら処分等を行うことはできない。）
- （３）特段の特色のない栽培方法の場合、「普通栽培」とならざるを得ないが、これは強制的に公表させる必要があるような消費者にとって意味のある情報とは言えないことから、必要な栽培情報のみ公表させることとなり、すなわち、任意情報とすることとなんら変わりなくなる。
- （４）きのこ類のように、「原木栽培」、「菌床栽培」といった栽培方法が明確に定義されている場合もあるが、本規格は、農産物全体に適用される横断的な規格であることから、個別具体の特定品目についてのみ適用される規定を規格に盛り込むことは適当でない。